

2025 年 7 月 27 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 15 号 (通算 3452 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さくされている人^{ひと}を
^{たいせつ}大切にする^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ
聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい
第8主日礼拝

^{れいはい}《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも^{しちよう}ご視聴^{ばしよ}いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂^{れいはい}け^{いただ}ます》

^{ぜんそう}前奏(黙^{もく}祷^{とう}) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね}招きの詞 ^{しよ}エレミヤ書 ^{しやう}7章 ^{せつ}2-7節

^{さんびか}賛美歌『こどもさんびか改訂版』16番「イエスさまいるってほんとかな」(©出版局)

^{せいしよ}聖書 ^{ふくいんしよ}マタイによる福音書 ^{しやう}18章 ^{せつ}15-20節

^{いの}お祈り

^{さんびか}賛美歌『こどもさんびか改訂版』132番「きみがすきだって」(©出版局)

^{じんかん}メッセージ「人間に神^{かみ}とともにいます」 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{さんびか}賛美歌『新生賛美歌』73番「善^よき力^{ちから}にわれ^{かこ}囲まれ」(©JASRAC)

^{しゅいの}主の祈り 21-62番「天^{てん}にいます わたしたちの父^{ちち}」(©讚美歌改訂委員会)

^{たんじやうしやしゆくふくしき}誕生者祝福式 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{ささげもの}献げ物(*)

^{はけん}派遣 21-91番「神^{ばん}の恵^{かみ}みゆたかに受^{めぐ}け」(1節のみ) (©JASRAC)

^{しゆくふく}祝福 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{こうそう}後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

^{ほうこく}報告 (4頁^{ページ}をご参照^{さんしやう}ください)

^{せき}《席^{すわ}にお座りになったままで礼拝にご参加^{れいはい}ください》

^{うけつけ}*受付に献金箱^{けんきんばこ}がございます。

^{ささげもの}「献げ物(献金)」はご用意^{けんきん}のある方^{ようい}のみ、お献^{かた}げください。

²主の神殿の門に立ち、この言葉を叫べ。主を礼拝するためにこれらの門に入るすべてのユダの人々よ、主の言葉を聞け。³イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。あなたがたの道と行いを改めよ。そうすれば、私はあなたがたをこの場所に住まわせる。⁴あなたがたは、「これは主の神殿、主の神殿、主の神殿だ」という偽りの言葉を信賴してはならない。⁵あなたがたが本当にあなたがたの道と行いを改め、本当に互いの間に公正を行うなら、⁶この場所で、寄留者、孤児、寡婦^{かふ}を^{しいた}虐げず、罪なき人の血を流さず、他の神々^たに従って自ら災^{わざわ}いを招かないならば、⁷私はあなたがたをこの場所に、あなたがたの先祖に与えた地に、いにしえからとこしえまで住まわせる。

聖書 マタイによる福音書 18 章 15-20 節 (聖書協会共同訳)

¹⁵「きょうだい^{いほうじん}があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところでとがめなさい。言うことを聞き入れたら、きょうだい^{ちようぜいじん}を得たことになる。¹⁶聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。『すべてのことが、二人または三人の人の証言によって確定されるようになる』ためである。¹⁷それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい。教会の言うことも聞き入れないなら、その人を異邦人^{いほうじん}か徴税人^{ちようぜいじん}と同様に見なしなさい。

¹⁸よく言っておく。あなたがたが地上で結ぶことは、天でも結ばれ、地上で解くことは、天でも解かれる。

¹⁹また、よく言っておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を合わせるなら、天におられる私の父はそれをかなえてくださる。²⁰二人または三人が私の名によって集まるところには、私もその中にいるのである。」



《先週のメッセージより》 2025 年 7 月 20 日

「本当に大切なこと」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネの手紙Ⅱ 5-6 節

今回の聖書は「ヨハネの手紙Ⅱ」という短い文書で、様々な教会へと回覧された手紙として、「教会に連なっている皆さんへ」宛てて書かれている文書です。「あなたにお願いしたいことがあります」という手紙の定型表現で述べられているのは、「私が新しく思いついたことではなく、私たちが初めから持っていた戒め、つまり、互いに愛し合う、愛し合おうということ」(5)です。6 節にも同じ内容が繰り返されていますが、いずれにしても「互いに大切にしよう」ということが述べられていることには変わりはありません。イエス・キリストが身をもって示された神（御父）の戒めとは、人と人とが互いに愛し合う、大切にしようということであり、それは実際に実践可能だということです。だからこそ「互いに大切にしよう」「やってみてください」と奨められています。すぐにはできそうになくても、諦めないでやってみることで、意外とできるかもしれない。それこそ小さな一歩であれば、何とかできるかもしれない。そうやって、目には見えなくても、神様が一緒にいて励まし力づけてくれていることに信頼して、やってみる。その時、きっとそこに神様が共におられることが感じられるのではないかと思います。

世界を創られた神は、「人が独りでいるのはよくない」と言い、隣人を創られ（創世記 1:18）、そこから人間は、他者と共に社会を形成して暮らすようになったと創造神話は伝えています。だからこそ、私たちは分断と排除・排斥ではなく、向かい合い、助け合っていくことが求められているのだと思います。現代社会は、人と人とのつながり、関係性がバラバラに分断されていますから、「面倒なことにはかかわらない」ということが容易にできるようになりました。そして「誰にも迷惑をかけずに暮らせている」と感じておられる方も多いのではないかと思います。しかし、「誰にも迷惑をかけないこと」が望ましいのではなく、むしろ困った時はお互い様で、持ちつ持たれつの関係性の方が健全なのではないでしょうか。誰かを傷つけ排斥する社会は、いずれ自分も排斥され、誰もが生きていくことができなくなっていく社会です。本当に大切なことは、全ての命が大切にされ合うことを通して、活かされ合っていくことでしょう。「本当に大切なこと」として、お互いに大切にしよう、平和をつくる道へと、私たちは今日も神様によって背中を押され、歩みを進めて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 7 月 20 日

礼拝出席 大人 4 人 献金 大人 3,100 円 中継視聴者数 14 回 感謝

◎次週 2025 年 8 月 3 日（日）平和聖日（聖霊降臨節 第 9 主日）礼拝

招きの詞 詩編 102 編 18-19 節

聖書 マルコによる福音書 7 章 24-30 節

メッセージ 「自身の中の差別する心」牛田匡牧師

賛美歌 21-425 番 (©JASRAC)、21-371 番 (©出版局)、21-418 番 (©教団)

8 月期の「教会を考える会」は休会です。次回は 9 月 7 日の開催予定です。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。
また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・8 月 2 日（土）に、和歌山県かつらぎ町にて「縁農」を行います。釜ヶ崎・いこい食堂の方々と一緒に、おにぎり支援用梅干しの「シソの葉塩もみ」を行います。
詳しくは牧師までお尋ねください。
- ・8 月 14 日（木）釜ヶ崎夏祭りのために、いこいの家での「聖書を読む会」はお休みです。次回は 9 月 11 日（木）の予定です。
- ・『信徒の友』7 月号「日毎の糧」7/16 欄に当教会が掲載されましたので、たくさんの方々からお祈りのお手紙を頂きました。感謝をもって教会・伝道所・集会名を掲載いたします。横浜岡村教会、西那須野教会、物部教会、遠州教会、東京山手教会、山梨教会、三本木教会、松戸教会、宿河原教会、東所沢教会、溝ノ口教会、松沢教会、鴨島兄弟教会、岩村田教会、遠州栄光教会三方原会堂、遠州栄光教会住吉会堂、大船教会、埼玉和光教会、沼津教会、用瀬教会、熊本城東教会、熊本草葉町教会、南甲府教会、荻窪教会、西千葉教会、甲子園二葉教会、経堂北教会、高蔵寺ニュータウン教会、大宮教会、姫路教会、福岡玉川教会、神戸栄光教会、和歌山新生伝道所、東郷教会、坂城栄光教会、飫肥教会、河内長野教会、東京神学大学、日本キリスト教団出版局、その他個人の方々。
- ・8 月 3 日（日）13 時半～16 時にかけて、天満教会にて、平和記念講演・祈祷会「核兵器のない世界へ向かって 原爆投下からノーベル平和賞まで～そしてこれから」が開催されます。講師は 2024 年ノーベル平和証受賞 日本原水爆被害者団体協議会事務局次長の和田征子さんです。事前申込不要で、参加無料です。どなたでもご参加ください。天満教会へのアクセスは、下記ウェブサイトにてご確認ください。

<https://www.temma.or.jp/>



◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
8/3	牛田匡牧師	平和聖日・ユウカリスト
8/10	牛田匡牧師	
8/17	牛田匡牧師	
8/24	牛田匡牧師	おにぎり支援

平和記念講演・祈祷会 『核兵器のない世界へ向かって 原爆投下からノーベル平和賞まで～そしてこれから』

2025 年 8 月 3 日（日）13:30～16:00

第1部：13:30～講演会 第2部：15:30～平和祈祷会
（第1部・第2部のみの参加もできます）

アジア・太平洋戦争終結、またヒロシマ・ナガサキ原爆投下より80年を数えるこの8月、
平和を求め続ける働きに響き、祈りを共にしましょう。なお、ご参加は無料です。

【講師】

2024 年ノーベル平和賞受賞
日本原水爆被害者団体協議会
事務局次長・和田征子氏



1945 年、1 歳 10 ヶ月のとき長崎市の自宅にて被爆。
母親から当時の状況を伝え聞き、40 歳の頃より被爆体験を語り始める。
長崎経水中・高校・明治学院大学文学部英文科卒。
2015 年日本被爆協会事務局次長就任。
2016 年欧州国連本部、2017 年ニューヨーク国連本部核兵器禁止条約
交渉会議に出席・発言。
2017 年 11 月バチカン法王庁にて故フランシスコ・ローマ教皇に謁見。

【会場】

日本キリスト教団 天満教会

〒530-0045 大阪市北区天神西町4-15

06-6361-6767

<https://www.temma.or.jp>



【共催】

日本キリスト教団 天満教会
日本キリスト教団 大阪中部地区

【案内図】

